



きよくり news

CONTENTS

- ・「にんしん SOS 仙台」をはじめて 3 年 ～あなたの力になります～
- ・子宮頸がん予防が大きく前進 4 月から 9 価ワクチンが定期接種に



Muraguchi Kiyokuri Women's Clinic

「にんしん SOS 仙台」をはじめて 3 年 ～あなたの力になります～

特定非営利活動法人キミトナリ代表 東田美香さん



きよクリニュースをご覧になっている皆様、はじめまして！特定非営利活動法人キミトナリ代表理事の東田美香と申します。今日は、キミトナリとはどのような団体なのか、ご紹介させていただきたいと思います。

当団体は、2020 年、予期せぬ妊娠をして困っている方からのご相談を受け付ける「にんしん SOS 仙台」という事業をおこなうために設立されました。仙台は全国的に見ても NPO が発展している地域で、女性や子どもの支援団体はたくさんあるのですが、妊娠に特化した NPO がなかったため、助産師・社会福祉士・弁護士などの仲間と一緒に

立ち上げました。

2020 年 8 月から 2023 年 5 月末までの新規相談人数は約 400 人、そのうち半数は十代の方々です。ご相談は、7 割近くが LINE から入ってきます。Twitter や Instagram の DM でご連絡を下さる方もいます。若い方に気軽に相談して欲しい、という私たちの願いは叶っているようです。ご相談内容の半数は「生理が遅れている」という段階のものです。今は生理管理アプリを使っている方が多いため、生理が 1 日でも遅れると「妊娠したのではないかと不安になるようです。そのようなご相談の場合は、不安な気持ちに寄り添いながら、アフターピルの服用が間に合いそうならお勧めし、間に合わない時期であれば、リラックスして生理が来るのを待つようにお話しします。ほとんどの方は、数日後に「生理が来ました！ありがとうございます！」という連絡をくださいます。中には、受診をお勧めしたところ病気が見つかり、「早い段階で見つかったよかったです！」といただく方もいます。

妊娠・出産は、嬉しいものであるに越したことはありません。ただ、状況によっては困りごとになる場合があります。それを「危機的妊娠」と呼ぶことがあります。危機的妊娠をした場合、選択肢は大きく分けて二つ、人工妊娠中絶をするか、出産するかです。皆様ご存じの通り、今の日本では、中絶は妊娠 22 週未満までしかできません。また、肉体的・精神的・経済的に負担の少ない初期中絶は、12 週未満までしかできません。私たち、にんしん SOS 相談窓口の難しさの一つに、限られた時間の中で対応していかなければならないということがあります。もちろん、決めるのは妊娠をされているご本人です。私たちは、時間に追われながらも、ご本人が最善の選択をできるように、面談を重ねたりして情報提供し、できる限りのサポートをするのみです。出産を選ばれた方、そもそも妊娠に気づいた時には出産しか選択肢がなかった方には、その方の状況に即した、出産や産後のサポートもしています。

ちなみに、にんしん SOS 仙台は完全に自主事業で、行政からは 1 円も出ていません。全て会員の皆様からの会費とご寄付でまかなっています。本来であれば行政がやるべき事業だと思うのですが、目の前に困っている方がいる時に、行政の動きを待ってはいただけません。私たちはこれからも、危機的妊娠の最中にある女性たちのために動き続けます。応援していただけましたら幸いです。

子宮頸がん予防が大きく前進

4月から9価ワクチンが定期接種に

看護師 畑山早苗

2023年4月より、子宮頸がん予防ワクチン「シルガード9」が定期接種として無料で受けられるようになりました。対象は小学6年生から高校1年生に相当する女子、加えて誕生日が1997年4月2日～2007年4月1日の女性のうち、ワクチン接種を逃したケースが「キャッチアップ接種」の対象となり（2025年3月までの期間限定）、全て公費による接種となります。定期接種が繰り返されていくことで、日本社会から子宮頸がんを撲滅していける可能性が現実のものとなってきました。

【なぜワクチンで子宮頸がんを予防できるのか】

子宮頸がんは、HPV（ヒトパピローマウイルス）によって引き起こされますが、ワクチンを接種することでHPVに対する抗体ができ、子宮頸がんを予防することができます。HPVは性交渉によって感染し、200以上の種類がありますが、中でも子宮頸がんになる確率の高いハイリスクなものとして、主に14種類が知られています。最もがんへの進行が早いタイプは16、18、45、31、33、52、58型、その次に51、35、39、68、56、59、66型です。

【HPV ワクチンは進化してきました】

子宮頸がん予防ワクチンが初めて承認されたのは2価であるサーバリックスで、日本人に最も高頻度の感染である16、18型に対するワクチンでした。次に2011年7月には4価となるガーダシルが承認され、感染すると厄介な性感染症・尖圭コンジローマの原因となる6、11型が加わりました。「シルガード9」では、がんへの進行が速いタイプ6、11、16、18、31、33、45、52、58型の9種類のウイルスの感染を予防することができます。2価・4価では、HPV感染を64.9～71.2%を予防できるのに対し、9価では81～90.7%といっそう高い効果が期待できます（※1）。9価ワクチンでは、副作用が4価よりわずかに上回るとの報告ですが、実際にこれまでクリニックで接種した感触では全く差はありません。

【9価ワクチンを推奨します】

これまで1回目を2価や4価で接種済みの方でも、2回目以降を9価に変えての接種で効果は高くなりますので、母子手帳を確認してみてください。情報を知らずに「不安だから接種をしない・9価を選択しない」という方もいます。子宮頸がんは、性交があれば誰でもHPV感染し罹患するかもしれない、ワクチン接種で唯一予防できるがんです。ワクチン接種を実行してほしいと願っています。

【子宮頸がん撲滅をめざして】

日本の子宮頸がん死亡率は依然として高く、子宮頸がん根絶に向かう世界の流れから取り残されています。予防効果の高い9価ワクチンの定期接種者が増えることで、この現状が劇的に変わり新たなステージを迎えることができると確信します。

（※）JOICFP ホームページより <https://www.joicfp.or.jp/jpn/column/202304-9hvp-vaccination/>

きよくり NEWS 関連記事



vol.41



vol.54



vol.60



vol.68



vol.73



臨時休診

- 7月3日（月）・8月14日（月）
- 8月25日（金）～26日（土）は第42回日本思春期学会参加のため休診とさせていただきますのでご了承ください。

編集後記

梅雨の時期、大気が低気圧になると、身体は副交感神経が優位に働くようになり「だるい」「やる気が出ない」と感じてしまうことが多いそうです。朝にカーテンを開けて光を浴び、適度な運動と食事管理で乗り切りましょう😊

発行元：村口きよ女性クリニック
<http://www.muraguchikiyo-wclinic.or.jp>
 e-mail: con@muraguchikiyo-wclinic.or.jp

